

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	0	0	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	7	1	ヘルパンギーナ	111	88
咽頭結膜熱	16	14	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	79	85
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	23	36	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	157	182	流行性角結膜炎 (はやり目)	23	15
水痘	34	31	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	246	277	無菌性髄膜炎	0	1
伝染性紅斑 (りんご病)	7	3	マイコプラズマ肺炎	5	4
突発性発しん	53	58	クラミジア肺炎	0	0

報告が多い感染症

- 手足口病
- 感染性胃腸炎
- ヘルパンギーナ

- 手足口病は、報告数 246件(前週報告数 277件)と減少。
地区別では、菊池、水俣、人吉に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の71件を最多に、主に8歳以下からの報告である。
- 感染性胃腸炎は、報告数 157件(前週報告数 182件)と減少。
地区別では、人吉、宇城、山鹿に多く報告がみられる。
年齢別では、7ヶ月～12ヶ月齢及び1歳の23件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- ヘルパンギーナは、報告数 111件(前週報告数 88件)と増加。
地区別では、天草、人吉、菊池に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の42件を最多に、10～14歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所		1	2	8	42	8	50	3	14		32	32		13				1
山鹿保健所					9	1	10		1		2	2	*	*				
菊池保健所		5	1	5	12	1	39	1	4		16	7		6				
阿蘇保健所				1			1				1	3	*	*				
御船保健所				1								1	*	*				
八代保健所			2		13	5	33		12		5	3						
水俣保健所			5		5	4	19		3		5	3	*	*				
人吉保健所				4	31	1	28		2		14	2	*	*				1
有明保健所		1	2	2	21	3	10	3	7		6	18		2				3
宇城保健所					18	7	19		5		6	6						
天草保健所			4	2	6	4	37		5		24	2		2				
計	0	7	16	23	157	34	246	7	53	0	111	79	0	23	0	0	5	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5ヶ月	6~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上							
RSウイルス感染症	7	1	2	3	1																	
咽頭結膜熱	16			8	2	1		2	1		1	1										
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	23		1	1	2	1	4	2	3	3	3	1	2									
感染性胃腸炎	157	5	23	23	17	18	12	8	4	8	6	8	11	2	12							
水痘	34	1	4	11	9	1	5	1	2													
手足口病	246	1	22	71	61	51	15	10	5	4	2		2	1	1							
伝染性紅斑	7		1	2		2	1					1										
突発性発しん	53	1	30	18	4																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	111	3	11	42	18	12	9	8	1	2	2		3									
流行性耳下腺炎	79		1	2	5	18	10	18	5	6	4	2	7	1								
眼科定点年齢区分	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	23			1	1					1			1		4	6	1	3				5
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	5		2	3																		
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 手足口病：熊本・山鹿・菊池・八代・水俣
人吉・有明・宇城・天草
- ヘルパンギーナ：菊池・人吉・天草

ヘルパンギーナ
手足口病



手足口病の報告数は、7週連続で減少していますが、依然警報レベルにあり、例年に比べるとまだ報告数は多い状況です。保健所別では、阿蘇、御船以外の地域で警報レベルが続いており、中でも、菊池、八代、水俣、人吉は先週の報告数よりも増加しているため、引き続き注意が必要です。また、ヘルパンギーナは5週連続で減少し、前週に警報終息基準値を下回りましたが、今回再び増加に転じており、手足口病と併せて感染予防対策を行ってください。手足口病、ヘルパンギーナともに、幼児を中心に流行する急性ウイルス性感染症です。手足口病は、口の中や手、足などに水疱性の発疹が見られる疾患で、ヘルパンギーナは、発熱とのどにあらわれる水疱性発疹が特徴です。患者の便や咳、くしゃみから感染しますので、予防法としては、排便処理後、食事前、調理前の手洗いやうがいなどが有効です。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課